

事務事業名		児童乳幼児ふれあい促進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																					
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																					
	施策名	15 学校教育の充実				会計	款	項	目																		
	基本事業名	01 教育環境の充実				01	10	02	02 08																		
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ		事務事業区分																					
所属		教育委員会事務局 学校教育課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H16 年度～)				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(1~4以外)																			
部課名		市村 康之		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】																							
課長名		学務係		年度～ 年度																							
係名		電話 0192-27-3111		※全体計画欄の総投入量を記入																							
担当者		熊谷 小百合		内線 277																							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																							
<p>小学校5年生・6年生の児童を対象に、乳児とのふれあい等により、命の尊さ、自他の尊重を身につけるために実施するもの。</p> <p>主な業務は、事業実施打合せ会議の日程調整、開催通知、打合せ会議当日の運営、議事録の作成、各小学校へ事業参加有無の照会、参加希望小学校へ実施希望時期の照会、事業実施当日の補助、事業委託契約の締結。</p> <p>事業費は、気仙医師会への委託料、岩手県助産師会県南支部への謝金、講師移送費、送迎バス運行料である。</p>				<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>				国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
国庫支出金																											
都道府県支出金																											
地方債																											
その他																											
一般財源																											
事業費計(A)	0																										
正規職員従事人数																											
延べ業務時間																											
人件費計(B)	0																										
トータルコスト(A)+(B)	0																										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
<p>事業実施打合せ会議の日程調整、開催通知、打合せ会議当日の運営、議事録の作成、各小中学校へ事業参加有無の照会、参加希望小学校へ実施希望時期の照会、事業実施当日の補助、事業委託契約の締結など。</p>		ア	事業実施校数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
本事業は30年度で終了。以後は県で実施する同様の事業を利用する。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内の各小学校5学年及び6学年児童		名称	
		単位	
		カ	市立小学校5学年及び6学年児童数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
命の尊さ、自他の尊重、家族の意義などを感じることができる。		名称	
		単位	
		サ	事業参加した市立小学校5学年及び6学年児童数
		シ	事業参加した市立小学校5学年及び6学年児童の割合
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
命の大切さを学ぶことによって、児童が自他の尊重、自分の両親への感謝、周囲の人々の大切さ等について認識できることにより、豊かな心を育むことができる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	145	127	139	100
	事業費計(A)		千円	145	127	139	100
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	50	50	50	50
		人件費計(B)	千円	200	200	200	200
		トータルコスト(A)+(B)		千円	345	327	339
⑤ 活動指標		ア	校	6	5	6	4
		イ					
		ウ					
⑥ 対象指標		カ	人	585	548	524	512
		キ					
		ク					
⑦ 成果指標		サ	人	361	289	332	276
		シ	%	61.7	52.7	63.4	53.9
		ス		-	-	-	-

事務事業ID	1221	事務事業名	児童乳幼児ふれあい交流促進事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成16年度に気仙医師会学校医学部において、「赤ちゃんふれあい体験学習」の実施を計画、市教委へ事業実施要請があり、事業実施の運びとなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成22年度より県立大船渡病院での新生児室見学を、感染症予防の観点から廃止。 平成23～24年度は、東日本大震災の影響を考慮し事業を休止、その後、事業再開の要望があり、平成25年度より事業を再開した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	参加した児童から、「とてもかわいかった。命の大切さを学んだ。こんなに大切に育てられて親に感謝したい。」等の感想が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 事業実施を通じて、参加児童が命の尊さや自他の尊重などを感じることができ、豊かな心の形成の一助となる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 事業実施を通じて、命の尊さ、自他の尊重を児童に教育することができるため、義務教育充実を図る上で重要な事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 事業内容(授業内容)について関係機関と協議しており、その内容を考慮すると、対象についても意図についても限定追加する必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 授業の一環として、事業実施場所も小学校で行っており、小学校の事務負担軽減及び事業参加児童の割合増加につながっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 県主催で同様の趣旨の事業が開始していることから、その事業を活用することが可能である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事業費で実施している。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員で実施している。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全小学校に事業実施希望を調査した後に事業実施していること、授業の一環として実施していることから、公平・公正であり、受益者負担についても同様である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	担当医師からの要望があり、本事業は30年度で終了。 以後は県で実施する同様の事業を利用する。